

スフィズム (半)

5.0

明:
スフィズムの基本原則、「シャイフ」の役割、盟、「ズィクル」、そしてスフィズムにおけるクルアン解は、どれを取っても元来のイスラムの教えには基づかないものです。

目:[事代におけるイスラムから派生した宗派](#)

より: アブドッラフマンムラド(2012 IslamReligion.

日 2 Mar 2012

集日 18 Mar 2012

スフィズムの基本原則

「シャイフにする自的で完全なる服」が、恐らくスフィズムのモットであると言えるでしょう。スフィ教の(シャイフ)とムリド(追者)との間に、特で完全な弟がかけられていることは一目瞭然です。スフィズムの基本原則を理解するには、その根本的な造を理解するに尽きます。では、それは一体何なのでしょう?

一般的に、追者はシャイフへの追を誓う「忠の誓い」と呼ばれるものを行い、シャイフはその返りとして、追者のあらゆるや苦から追者を救い出すことを束します。またシャイフは、真な追者にして有利となる二次的な酬も提供します。合意をすると追者は祝福され、ズィクル(唱念の文句)の一式が与えられます。また追者は、スフィ教によって定められた礼作法に基づいた人生をむことが求められます。教の内外においてが生じた場合、追者はシャイフの指にわねばなりません。このように、追者にするシャイフの威は 的なものとなります。

追者は外の世界から切りされ、多くの面で不当な いを受けることも多々あります。私たちはムスリムとして、いかなる人物であっても人から苦を取り除いたりする能力は

上からも明らかのように、スフィズムはイスラームの本からかなりの道を遂げたものです。スフィズムはその追者が、全世界の造主である神によって与えられた基本能力の使用を放棄するよう教え、奴隷のような服従を求めているのです。

イスラーム自体は非常にシンプルなものですが、人と神との間にはいかなる仲介者や人さえも入り込む余地はなく、私たちはただ全能なる神のみに身を委ね、服従するだけなのです。

Footnotes:

1

Saif an-Nasr, *Seera of Hamidiyyeh*, 1956

この記事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1389>

著作権 © 2006-2015 断 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 断 を禁じます。